

瀬戸内タウンミーティング意見要旨

平成 26 年 8 月 31 日（土曜日）

午後 3～5 時

ゆめトピア長船

リフレッシュスタジオ（小ホール）

参加者：男性 23 人、女性：6 人 合計 29 人

【意見交換】

・土師地域交流サロンは 10 年前に建てられた。管理は任意団体が指定管理者として指定されている。個人みたいな管理団体では管理できない。事務局もないし、使用の受付窓口もないので使う人は困っている。管理する人も管理が大変なので困っている。また、無料施設なので公民館から人が流れて来ている。なぜこのようになるかという、施設の使用目的がはっきりしていないからである。町内会・集会所があるが、住民はどちらを使っていいかわからないので、あやふやな施設となっている。指定管理者の契約期間が 3 年であり、来年 3 月に満期を迎えるため、指定管理者解除の書類を提出している。

（市長）

・書類は目を通したが、地域の皆さんにとって、切実な課題だと思う。どのように有効活用していくか一緒に考えなければならないと思う。誰も管理しないとなると市が管理しなければならなくなる。健康増進、子どもからお年寄りまでの交流と介護予防などの目的にあった有効活用してくれるようなところがあるのであれば、そういったところを探してくるという方法もある。担当も課題だと思っている。問題意識は持っているので、地元の皆さんと協議しながらやっていきたいので少し時間をいただきたい。

・指定管理は更新しないので、来年 3 月の満期までに決着をしてほしい。

・ごみの回収カレンダーについての要望。赤丸でそれぞれに色を付けてあるが、白内障で、赤とピンクがよく分からないことがある。分からないので、丸印に屋根や尻尾をつけて自分なりに分かるようにしているのだが次年度からは少し工夫をして、空き缶や瓶やごみ袋の形にするなど、その日に何を出すのかぱっ

と見て分かるようにしてほしい。

(市長)

高齢者や色覚異常の方に同じような問題が出てくると思う。担当課に伝えて検討していきたい。

・コミュニティ活動に参加されている人が少ない。自治会としての川掃除等の色々な行事には参加しない、お金で解決してくださいと言われた。市としては、どのように考えているか。市の職員に昔相談した時、人口が増えるから、税金が増えるから良からうと言われた。

(市長)

コミュニティ活動を何のためにするのか、ということに関わると思う。単に溝がきれいになればよいというのであれば、お金でという話もあるのかもしれないが、コミュニティ活動というのは、単に溝がきれいになればよいという話だけではないと思う。例えば、地域の中でつながりを作り、いざという時にお互いが助け合えるような地域を目指すことや他にも目的があるのかもしれない。仕事が片付けばよいというものではないと個人的には思う。お金で済ますのではなく、なんらかの形で参加していただくことが理想とは思ふ。ただ、地域によってたくさん外から入ってこられている方がいる場合にはそういう理屈を言ってもなかなか解決はしないと思うので、地域の事情で判断が変わってくると思う。コミュニティ活動の本来の目的は、住民の自治の活動になるのでそれをどう考えるか。市の方でこうしてくださいというのは言えないが、できることがあればやっていきたい。方向性を一緒に考えていきたい。

・重要施策の説明中に、教育の問題がはいっていないのは非常に残念。市長の今年の年頭のあいさつの中で、これからの10年を考える年にしたい、と言っていたが、10年、20年先を考えたときに、教育再生というのが非常に重要課題だと思ふ。全国学力テストの結果が発表されたが、岡山県は小学生、中学生ともさんたんたる成績でまったく順位が上がっていない。小学生に関しては非常に下がっている。

行政でもいろいろしているとは思ふし、県も教育再生を最重要課題として挙げているが、県の指導・施策だけでなく、市独自の政策・改善策を打ち出す必要があるのではないか。子どもの指導だけでなく、両親・家庭まで踏み込んだ施

策が必要なのではないか。市としてどういう風に取り組んでいくのか、考えを聞きたい。

(市長)

・説明資料の重要施策に教育の取り組みを書くべきだった。決して軽視しているわけではない。色々な新しい取り組みを行っているところではある。学校の授業をおもしろいものにしていく取り組みとして、体験型学習を根付かせていくことを行っている。行幸小学校・牛窓東小学校等対象を広げていき、板書で説明するだけでなく、分かったという喜びを感じてもらえるような授業を目指している。

・学校力向上事業を始め、1校あたり10万円で学校長の裁量で新しい授業・取り組みができるようなお金を付けるようにしている。例えば、家庭の教育力向上のために講師を招くということもできる。教育委員会や私が言っても、学校が主体的に動かなければ、意味がない。学校・先生に力をつけるということから始めていく方針で進めている。

・図書館も子どもの教育に影響があると思う。読書習慣を身につけさせるためにも必要。移動図書館車が保育園・幼稚園を巡回している。そういったところで読書習慣をつけながら、より良い環境の場所で、読書に関心を持ってもらおうと思っている。また、地域の皆さんに学校のボランティアとして関わってもらい、学校支援地域本部を市内全校でやっという進めている。子どもに効果的な学習・指導をするため、先生たちにタブレットPCを渡し、徐々に子どもに影響を広げようという取り組みも行っている。

・今の子どもは興味を持たないと何もはじめられない子どもが多い。興味付けから始める必要があると思う。

(市長)

時間はかかると思うが一生懸命取り組んでいきたい。

・町内会のあり方についてだが、町内会費を払わない、町内会から抜きたいという人がいるのだが、その人に対する対応として、回覧板は回さなくても良いか。ごみの当番をしない人に、ごみ捨てを拒否してよいか。町内でも検討しているが、なかなかよい結論が出ないので、意見を聞かせてほしい。

(市長)

住民自治の根幹に関わる問題である。地域の皆さんの自治活動の組織を自治会という。我々は地方自治体という。自治体というのは自分たちのことを自分たちで考えることを基本とした組織である。例えば、市が税金を納めない人にごみの収集サービスをしない、図書館を使わせないという話になると社会がおかしくなる。払ってくださいと言うだけではいろんな事情もあり払っていただけない人もいる。自治を考えると、社会全体でいろんな人の思い、価値観や利害の対立を受け止めるだけの寛容性をもつことを大切に思っている。排除するわけにはいかないので、色々な人たちを市として受け止め、受け入れていくというのが寛容性の精神であり、地方自治には欠くことができないと思う。

自治会の仕事はどうなのかというと、地域全体としてそういう人たちを受け止めてあげようという意識をもつか、受けとめてあげようとするかということも含めて、自治になってくると思う。

地域の中で、寛容の精神を持ちながらルールに従ってもらうような地域のコミュニティであってほしいと思う。喜んで自治会費を払ってもらえるような地域活動をどのようにするかという話にもつながってくると思う。

・児童の貧困化について、登下校を見ていて、洗濯されていない服を着ている児童や少し臭う児童がたまにいる。その場合、行政として手伝えることがあればしてほしい。

(市長)

保健福祉部に相談してください。場合によっては児童虐待の問題が潜んでいる可能性も考えられるので、おかしいと思った時に言うてもらうことが大切だと思う。そうでないと取り返しのつかないことになる場合もあるので、相談してほしい。

・情報の発信について、宣伝が下手だと思う。ホームページの活用がどんどん悪くなっている。業者を選定したと出ていたが、業者に任せていても限界があると思うので、市の中で、情報を集約して発信する専任を作ってはどうか。昨日の牛窓の芸術祭など、イベントがあっても、ホームページを探してもなかなか見つけることができない。市の行事ではないのかもしれないが、公民館を使って行っているイベントである。タウンミーティングも前は一覧で出ていたし、市長の公務日程には入っていたが、今は載っていない。市のホームページを見ている人も多いと思うし、これからそういう時代になってきているので、もっ

と上手く、魅力的なものにしてほしい。

・コミュニティ活動をいかに充実していくか。各地区がそれぞれコミュニティ活動を有することにより行政の負担が減っていくのではないか。財政的にも防災の面でも、負担が減るのではないか。

(市長)

市ホームページのリニューアル作業を行っているが、業者任せにせず、私も打ち合わせに参加し、どういう部分を使い勝手が悪いかということも含めて見直している。もう少し時間がかかるとは思うが、それぞれの担当課で色々な情報が上げやすくするようなシステムを入れようとしている。運用の仕方も見直しができるようになる。ホームページはたくさん活用されていて、充実させるのは重要なことであるし、ホームページにより市のイメージも変わってくるし、市のPRをすることもできる。問題意識を持ってやっていきたい。

観光情報は家で事前に調べるといふ人はパソコンでよいが、出かけてから行く場所を探す人はスマートフォンで見ると思うので、スマートフォンで見ることができるようになるようなものを入れたいと思ふ。

災害の際は、災害用の情報がきちんとホームページで見ることができるような形に切り替えができる等、工夫もしないといけないう。できる範囲の工夫はしていきたいと思ふ。こういった機能をいれるとよいというものがあれば事前に知らせていただけたらできるだけ検討していきたい。

・市からの情報発信だけでなく、市民が何をみたいかということが分かっているのか。もっと楽しいものにしてもらえればと思ふ。

(市長)

・Google アナリティクスなどでアクセス数なども分かるので、何を皆さんがご覧になりたいかを頭にいれてやっていきたい。

・それぞれのコミュニティ活動の充実ということで、地域の一括交付金制度というものをこれから検討し、導入していこうとしている。行政委員、土木委員、環境衛生委員の活動も含めて、地域の幅広い活動に対して一括して交付金を渡す制度を入れていきたいと考えている。

邑久町はコミュニティ単位があるが、長船町はコミュニティという単位がないので、土師地区を対象とするのか、国府地区を対象とするのか、そういった枠組みが決まらないう一括交付金として出すことができない。枠組みを決めるのが大変な作業かと思ふ。検討はしているが、時間がかかると思ふ。

・図書館と病院の場所についてだが、あの場所に建つと、邑久町の人は便利がよいが、長船町の人は便利が悪い。交通手段がない人が結構いるので、長船町の人は病院は岡山か備前かにほとんどの人が行っていると思う。チェックしてもらえれば、どれくらいの長船町の人が、他市に流れているか分かると思う。そういったことは加味されず、図書館も病院もお金をかける割には、邑久町の住民にお金をかけ、長船町の住民にはお金をかけていないという風に考える。

・倉敷の女児誘拐の件について、長船中学校付近は、民家が非常に少ない。防犯カメラはどこにあるか。たくさんつける必要はないが、何カ所か通学路のところに、事件が起こる前に予防としてつける必要があるのではないか。

(市長)

・図書館、病院の場所については長船町、牛窓町の方にそういう思いを持つ人もたくさんいると思う。図書館については、長船町公民館に図書室があるが、充実する必要があると思うので合わせて考えていく。方針は出しているが、地元の皆さんと練ったうえで充実させていく必要があると思う。病院については、長船町の方は備前や岡山の病院に行く方が早いということで行く方もいると思う。邑久町や牛窓町の人でも西大寺の方に行く人がたくさんいることが現実。大切なのは、市民病院を行こうと思ってもらえる病院にしていくことしか解決方法はないと思う。

・交通手段の問題を根本に考えないと解決しないと思う。

(市長)

・公共交通のあり方については検討している。牛窓町でモーモーバスを実証運行していたが乗り合い率の低さもあり、いったん仕切り直しで考えようということになった。交通手段の問題は牛窓町だけでなく、瀬戸内市全体の問題なので、必要な場所にどのように行けるようにするかを考えなければならないので、検討作業をしている。

施設は、どこかに場所を決めなければならないが、そこまでどうやってたどり着けるようにするかという議論を忘れないように考えていきたい。

・防犯カメラは設置箇所が増えていくと思う。駅を中心に設置はしているが、これからは一般の道路等に設置する要望がでてくると思う。瀬戸内警察署長と防犯カメラを設置してはどうかという話をしてはいるが、問題はどこに設置するかということで、犯罪が良く起こっている場所を中心に設置するべきなのかということを検討していこうとしている。一般道につけるということは、犯罪

抑制につながる一方で、通行している人はすべてカメラに収まるということになるので理解してもらい必要もでてくる。理屈の通る形で説明する必要もある。防犯カメラは大切になってくるので、前向きに取り組んでいきたい。

・先日の台風の際、瀬戸内市全域に避難勧告がでたが、自分は福岡地区で、このあたりの川は大丈夫だろうという安易な考えで避難はしなかったが、スマートフォンを利用した形で、例えば干田川や千町川が危険区域になっているという情報が入るような仕組みがあればよいと思う。今回、実際に被害があったのは牛窓だけであったと思うが、瀬戸内市全域に出されると、不安をあおられるだけでどうなのか。こういう理由で避難勧告を出しているという情報が分かればと思う。

(市長)

土砂災害警戒情報が瀬戸内市全域に出たから、避難勧告を出した。どのタイミングで出すかは迷うこともあるが、空振りでも出すという方針である。携帯電話を持っている人には緊急速報メールというものが流れるようになっており、そこにはその文言はいれた。今後も緊急速報メールを活用しながら情報発信をしていこうと考えている。携帯電話を持っていない人もいるし、届かなかった人もいるので、そうなればホームページも情報を発信するのに重要な手段だと思う。干田川の水位等が皆さんでも見てもらえるように情報がどこにあるかというようなものがホームページにあれば、避難の必要性など判断できるようになると思う。

気象庁・県・国の出先機関などがそれぞれの情報を出しているので、まず、情報がどこにあるのかというのを市として皆さんに伝えることができるようなホームページの検討もしたい。